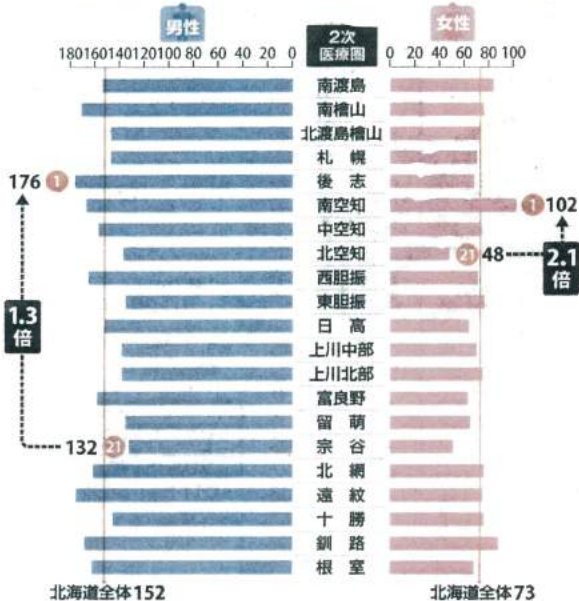
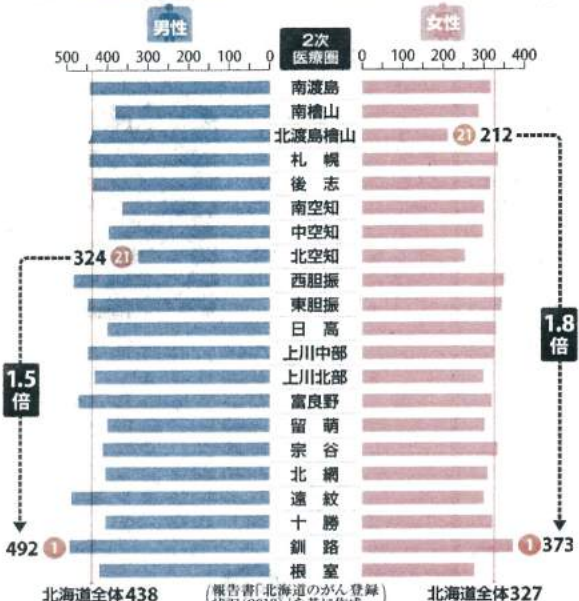


がん死亡率(全部位、2013年)※人口10万人当たり。丸数字は順位



がん罹患率(全部位、2013年)※人口10万人当たり。丸数字は順位



# 死亡率、罹患率 実態は

## 2013年「道内の登録状況」まとめ

### 4万1千人のデータ分析

#### がんを 防ごう

同センターが、1,444の を算出しました。2次医療 協力医療機関からの届け出 などで登録した約4万1千 人をまとめた昨年に続き、回 目。同センターによると、 集計基準の変更なしで前年 とは単純に比較できないそ うです。

2013年の全道のがん 死亡率は、男性が1522、 女性が73でした。データは いずれも原則小数第一位を 四捨五入。倍率などもこれ に基づきます。

2次医療圏別では、男性 1.8倍、女性1.3倍

北海道がんセンター(札幌)と道は、2013年に新たにがんと診断された り、亡くなった患者の情報をまとめた最新の報告書「北海道のがん登録状況」 を公表しました。全部位のがんについてある2次医療圏別で比べると、がん 死亡率(人口10万人中、がんで命を落とした人の数・年齢調整済み)は最大で 約2.1倍、がん罹患率(同じく、がんと診断された人の数・同)は最大で約 1.8倍の開きがありました。死亡率、罹患率ともに全国より高い北海道の中 でも、地域によって大きな差のあることがあらためて分かりました。



北海道がんセン ターの高藤真美 がん登録係長

(編集委員 岩本進)

が高い順に①後志(176) ②道庁(175) ③南檜山 (171) ④釧路(168) ⑤南空知(167)。後志 は最低の宗谷(132)の 約1.3倍。

女性が高い順に①南空知 (102) ②釧路(88) ③南 渡島(84) ④南檜山(76) ⑤東胆振(76) ⑥南 空知は最低の北空知(48) の 約2.1倍。

全道のがん罹患率は、男 性が438、女性が327 でした。

2次医療圏別では、男性 が①釧路(492) ②道庁 (488) ③西胆振(48) ④富良野(47) ⑤

「全国がん登録」制度に移行。 新制度では、国内全ての病院 などには患者情報の届け出を義務 付けている。

2次医療圏 がんや脳卒中 などの手術や入院が必要な医療 サービスをおおむね受けられ る地域単位。道庁の市町村 からなり道内に11圏域ある。 これに対し、1次医療圏は、か がりつけ医療などによる初期 診療を受けられる地域で、1、4 の市町村の単位で設定。ま た、最先端医療を受けられる 3次医療圏が道内に6圏域 ある。

2次医療圏のうち、総合振 興局・振興局の管内と区域が 異なるのは次の通り。

- ▽南渡島 函館市など9市 町▽南檜山 八雲町など4 町▽北渡島檜山 江刺町など4 町▽札幌 札幌市を含む17 管内▽南空知 苫小牧市など 9市町▽中空知 滝川市など 10市町▽北空知 滝川市など 5市町▽西胆振 室蘭市など 6市町▽東胆振 苫小牧市など 10市町▽上川中部 旭川市 など10市町▽上川北部 室蘭 市など8市町村▽富良野 富 良野市など5市町村▽北檜 山 網走市など10市町▽ 道庁 紋別市など10市町

この報告書は、道が近く 掲載を予定する北海道のがん 対策のホームページで閲 覧することができま。

北海道のがん登録 住民のがんの実態把握 と、地域のがん対策を推進・ 評価するために道が1972 年に始めた。2009年度か ら、北海道がんセンターに業 務委託している。

医療機関からの患者情報の 届け出を義務付けていないた め、がん患者の実態を100 %把握したものではないが、 13年には道内全体的ながん拠点 病院(20施設)を含め計14 4施設が届け出ているなど、 年々実態に近づいている。13 年のデータについて、同セン ターは「登録漏れはまだある が、実際の患者数にかなり近 くなってきた」とみる。

北海道など各都道府県が行 ってきたがん登録は、16年か らがん登録推進法に基づ

#### 科学的な予防法を

北海道がん診療連携協議 会がん登録部会の高橋将人 部会長(北海道がんセンタ ー副院長)の話

道民のみさんにはま ず、こうした地域のがん登 録のデータがあることを知 ってもらいたい。自分が住 む地域のがんの実態を知 り、科学的根拠に基づいた 予防法に取り組んだりがん 検診を受けたり、自分でで きることから始めてほしい と思います。一方、医療者 や行政の担当者はデータを 基に自分の地域にどんな課 題や原因があるのかを分析 して考えてほしい。データ を地域のがん対策に、ぜひ 反映させていきたいと思います。

#### 地域ごと対策必要

道地域保健課の畑島久雄 がん対策担当課長の話

同じ北海道でも死亡率や 罹患率が高い地域もあれば 低い地域もあることが分か ってきた。従来、道は北海 道全体のがん対策を講じて きたが、こうしたデータを 分析し地域ごとの対策を立 てる必要性も感じる。今回 のデータは2013年分ののみで、策定中の道の第3期 がん対策推進計画(18年度 から6年間)にすべ反映さ せるのは厳しい。今後のデ ータの推移を見て各地域の 状況を把握し、新計画へ 入る中で検討している計画 開始から3年をめどに、道 中間評価で役立てたい。



# 部位でも地域差大きく

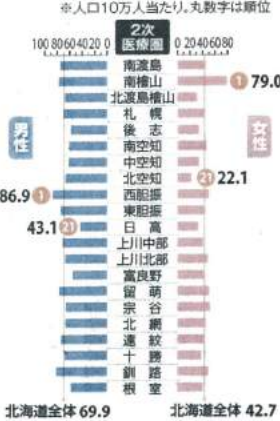
## 大腸がん

死亡率をみると、男性は①南檜山②南空知③後志④根室⑤南渡島の順、女性は①南空知②南檜山③南渡島④北檜山⑤釧路の順に高くなっています。男性の南渡島や女性の釧路は、罹患率も高い。男女とも死亡率が高い南檜山も、罹患率が高いのですが、人口が少ないので数年間の動向をみる必要があるでしょう。

### 大腸がん死亡率(2013年)



### 大腸がん罹患率(2013年)



### 乳がん死亡率(2013年)



### 乳がん罹患率(2013年)



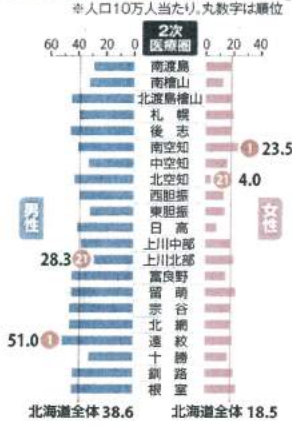
## 乳がん(女性のみ)

死亡率が最も高いのは釧路。次いで南檜山、東胆振、西胆振、十勝の順。南檜山は人口が少なく1年分のデータでは傾向がはっきりとは分からない。釧路は罹患率も高い。西胆振と東胆振は、罹患率が全道並みなので、例えば早期発見が不十分など他の要因が考えられるでしょう。

## 肺がん

男性の死亡率が最も高い圏域は遠紋で、全体では沿岸部で高い傾向がみられます。女性の死亡率は①南空知②根室③留萌④釧路⑤上川北部の順に高くなっています。男女ともに高い遠紋、釧路、根室の3圏はそれぞれ罹患率も高く、この3圏の死亡率の高さは、罹患率の高いことが原因と考えられます。

### 肺がん死亡率(2013年)



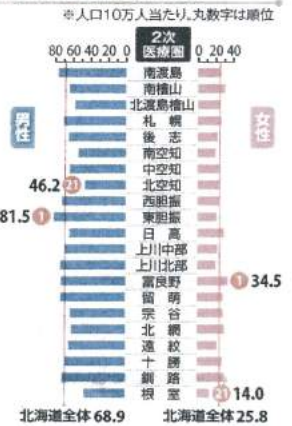
### 肺がん罹患率(2013年)



### 胃がん死亡率(2013年)



### 胃がん罹患率(2013年)



## 胃がん

死亡率が高い圏域を順に並べると、男性は①南檜山②南渡島③後志④上川北部⑤日高、女性は①日高②上川北部③南渡島④南空知⑤釧路です。男性の南渡島や上川北部と女性の日高や釧路は、それぞれ罹患率も高くなっています。

報告書は、全部位のほか、肺、大腸、胃、乳房(女性のみ)の主な4部位のがんについても1次医療圏別の死亡率、罹患率(いずれも年齢調整済み)を公表しています。全部位で比較できるように、各部位の地域差が大きくなっていることが分かります。各がんのデータを、北海道がんセンター(札幌)の音真美がんと事務局長の解説を添えて紹介します。

■データの読み方 部位別がんは、全部位に比べ、各圏域の死亡・罹患数等のデータが少なく、年によって同じ圏域の死亡・罹患率が大きく変動する可能性があります。このため、各圏域はがんの正確な実態の把握には「数年間の推移をみる必要がある」と話しています。部位別がんの死亡・罹患率では、小数第2位を四捨五入しました。